



2022年度 琉球大学教育学部 地域連携部会
成果報告交流会

2023年3月4日(土)

教職センター 上江洲朝男

報告① アドバイザリー事業を通して 見えてきた学校のニーズ

1

派遣依頼の推移から見えてきたこと

2

先生方の声から

3

見えてきた学校のニーズ

4

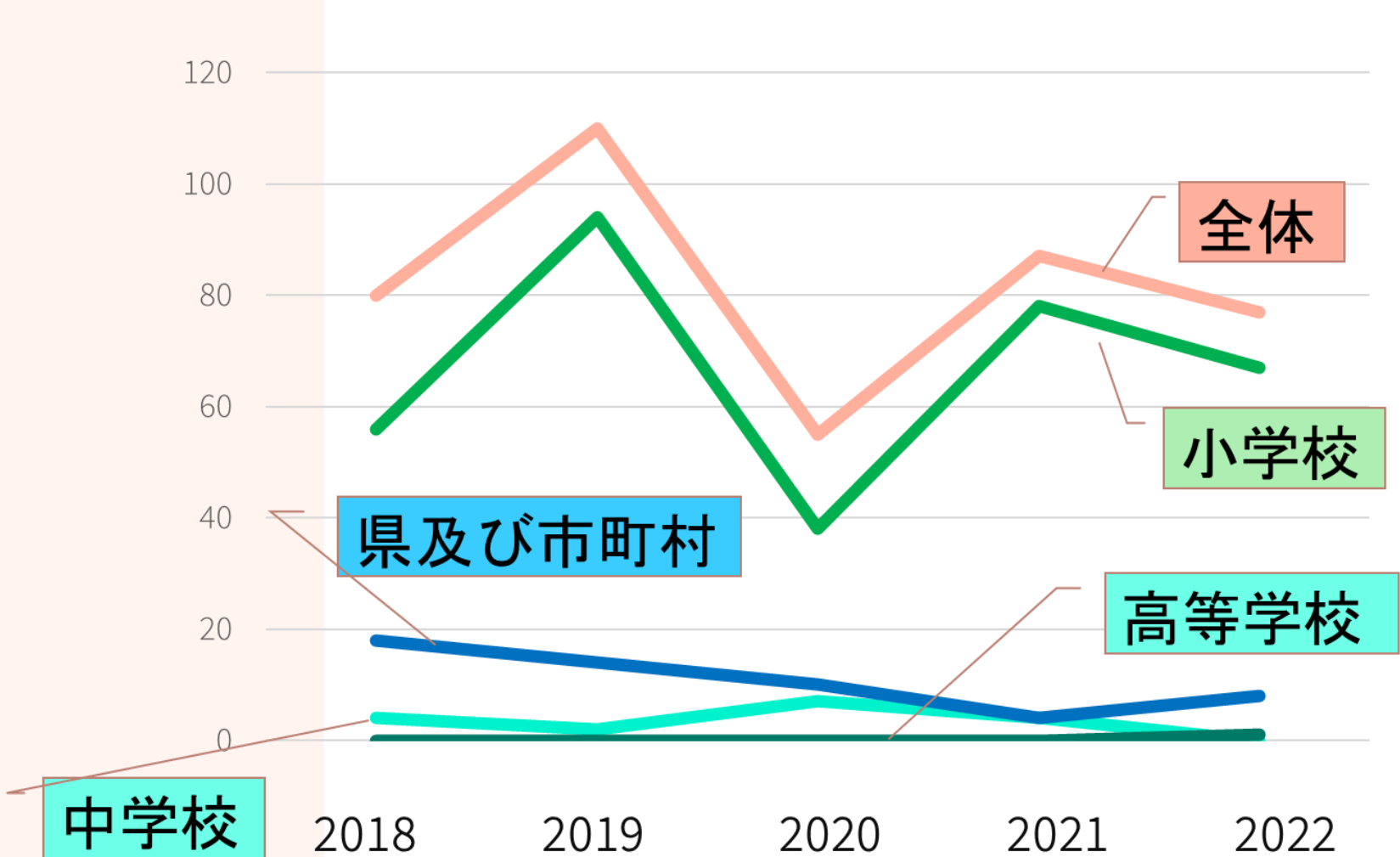
今気になっていること

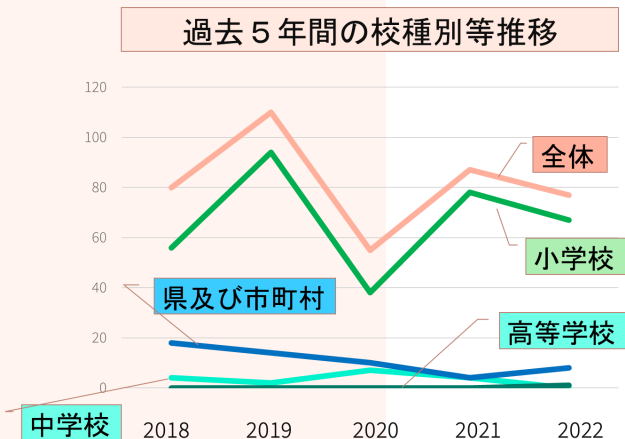
1 派遣依頼の推移から見えてきたこと

過去5年間のアドバイザースタッフ派遣事業の内容の推移（上江洲 朝男）

		2018		2019		2020		2021		2022	
		H31		R元年		R2		R3		R4	
		申請有	申請無	申請有	申請無	申請有	申請無	申請有	申請無	申請有	申請無
小	理論研	9		13	1	10	1	23		10	2
	授業研	22	1	39	2	11	1	26		29	
	授業づくり	13	8	21	12	11	2	22	5	12	9
	校内研打ち合わせ	1	1	3		1	1	1	1	2	1
	小中合同	1		2						1	1
	その他			1							
中	理論研	1				2		1			
	授業研			1		2	1	1			
	授業づくり										
	校内研打ち合わせ					1					
	小中合同	1	1	1		1		2			
	その他（リー研）	1									
高	プレゼンの方法							1		1	
	その他（リー研）	1	1								
県及び市町村		16	2	10	4	3	7	4		2	6
その他（講演）											1
	合計	66	14	91	19	42	13	81	6	57	20
		80		110		55		87		77	

過去5年間の校種別等推移





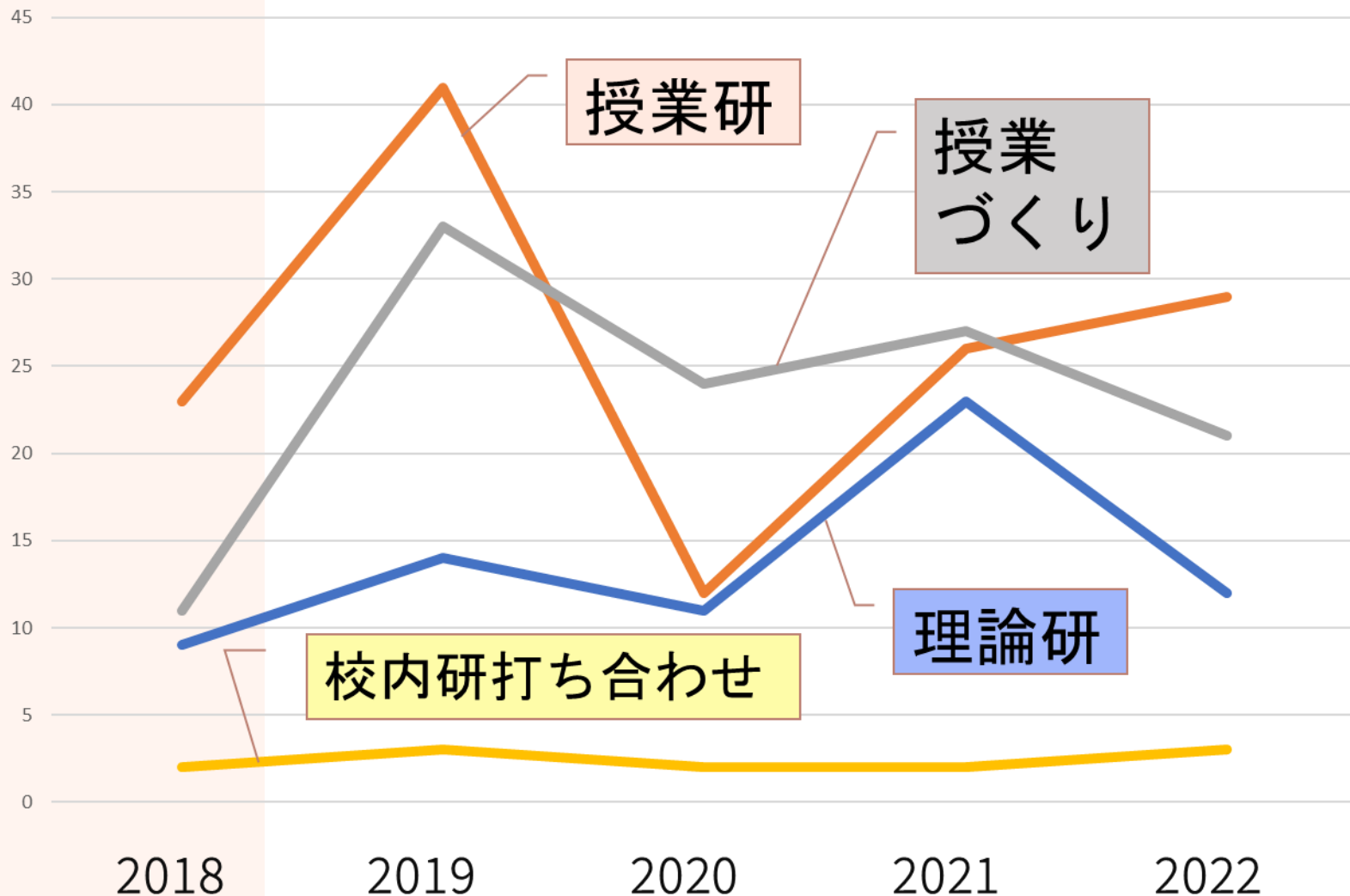
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった2020年度に半減。その後リモートによる研修等の依頼が増加。中止や延期等多大な影響があった。

- 校種別にみると**小学校**が9割以上を占める。

- 中学校は教科での依頼は少なく、小中一貫教育等の小中合同授業や理論研が多かった。生徒会リーダー研修会の講師依頼もあった。

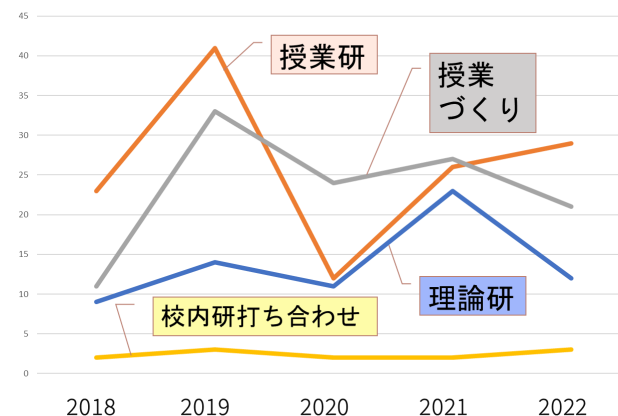
- 中学校では、**教科会**での依頼もあった。

過去5年間の依頼内容別推移（小学校）



- 小学校の場合、理論研の後に授業研をするケースが多く、年間を通して、関わることも多くなった。

過去5年間の依頼内容別推移（小学校）



- 学年や隣学年による少人数での単元構想や授業づくりのニーズが高まってきている。リモートの普及によって、学校側も気軽に依頼するようになってきた。

- 校内研のテーマ検討や授業研究会の進め方などにもニーズが高まってきている。

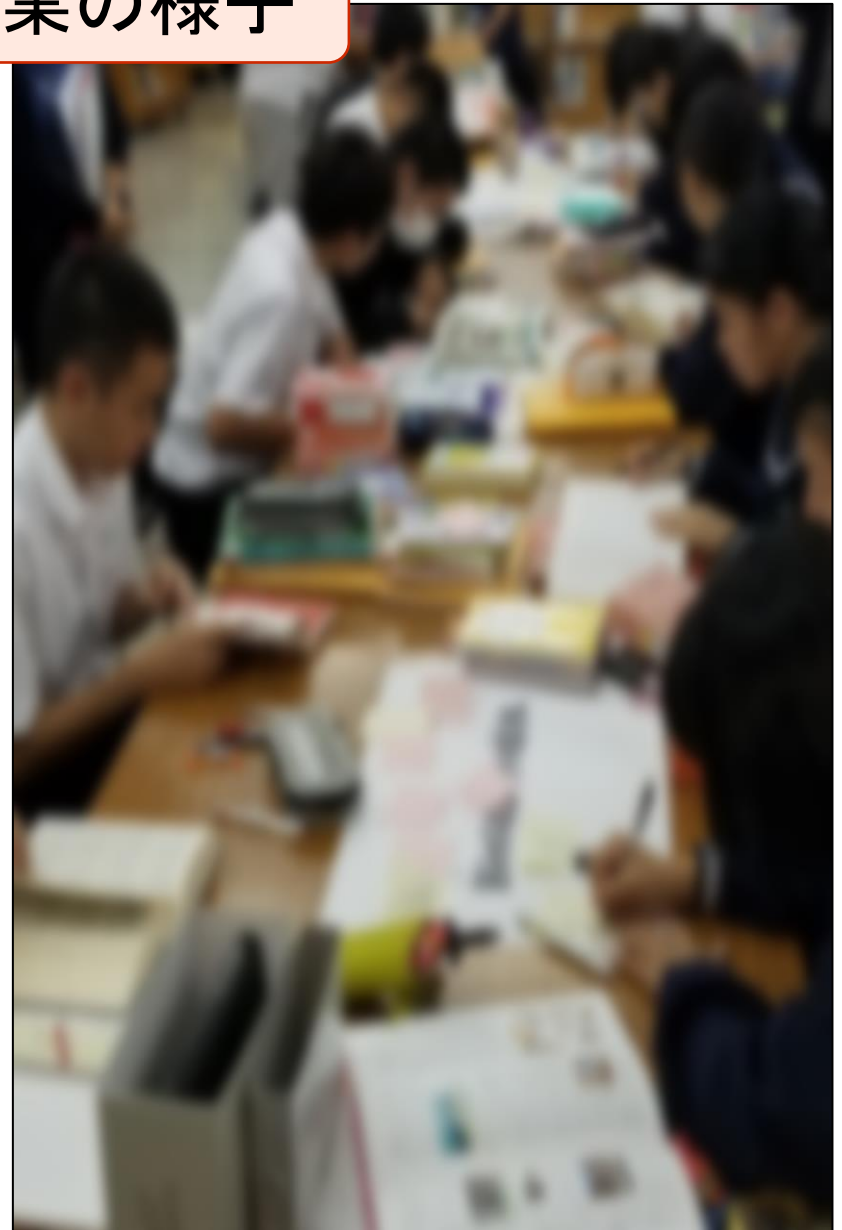
2 先生方の声から

小学校校内研の様子



・ 指導要領の指導事項をもとにした授業づくりのノウハウが、すっと頭に入ってきました。毎回教科書会社の指導書通りに授業を展開することが多かったのですが、実際に自分たちで授業づくりをしていきたいと思えます。

中学校の授業の様子





日々の活動
が社会に出
て繋がる力
になるよう
に

④ 講話「中学校国語科におけるこれからの授業づくり

～ 新学習指導要領と学習評価の観点から ～

(琉球大学教職センター 上江洲 朝男 氏)

本当に、すべてにおいて役立つお話をばかりでした。先生の話を聞きながら、自分自身の日々の授業を思い出していました。日々、授業改善に取り組んでいるつもりでしたが、まだまだ「不十分だ」と実感させられました。日々の活動が、社会に出て繋がる力となるように、頑張り続けたいと思いました。考える力、表現する力をつけることが、できるより、日々の授業をしっかりとふりかえり、改善に繋げていきます。やはり上江洲先生の講話は素晴らしいです！またお話を聞きたいです。

④ 講話「中学校国語科におけるこれからの授業づくり

～ 新学習指導要領と学習評価の観点から ～

(琉球大学教職センター 上江洲 朝男 氏)

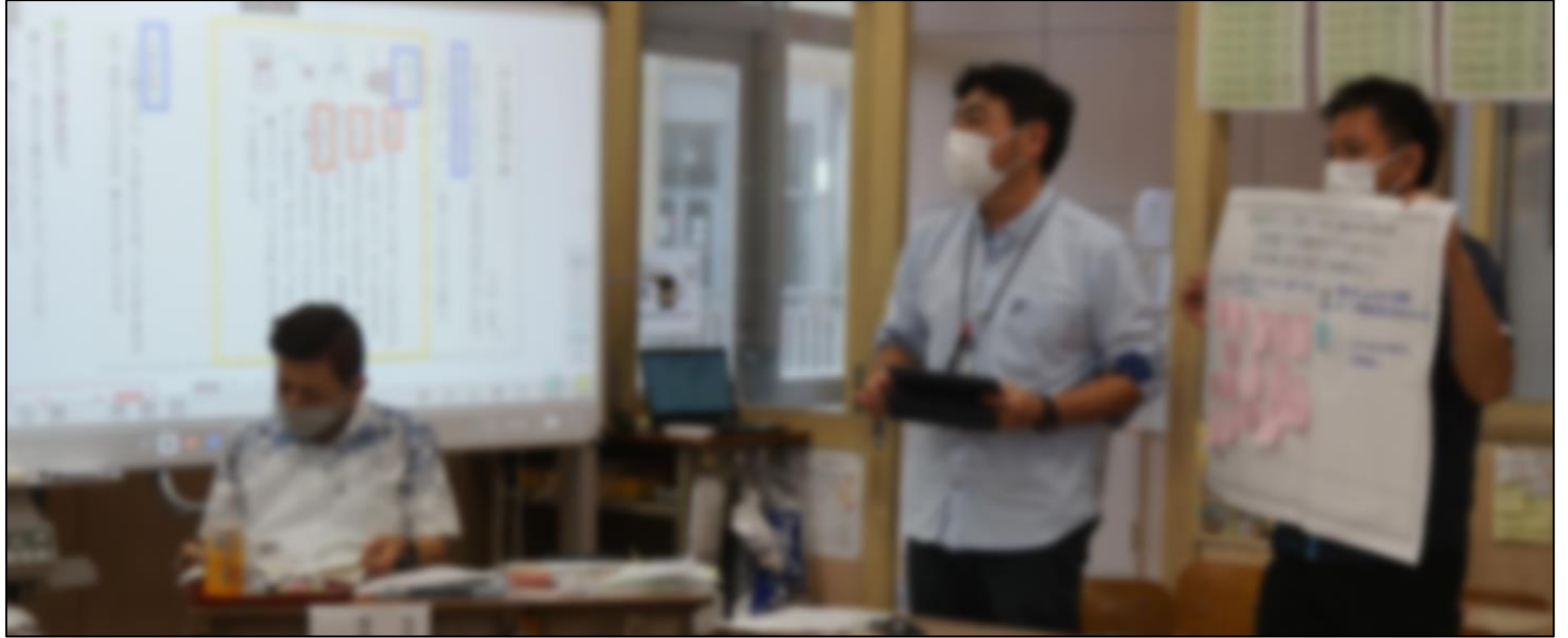
「今日の授業で判断は何か」「学んでいるか思考しているか?」といった言葉が心に残っています。生徒の行動にはばかり目がいきがちですが、どう頭を使っているか、使わせるかを意識して授業を組み立てていきたいです。とても勉強になりました。

生徒の行動に
目がいきがち。
どう頭を使っ
ているか、使
わせるかを意
識したい。



・「線を引かせるときには『できるだけ短く』」「登場人物になったつもりで気持ちを書く」「結論（答え）だけを言わせることで、質問したくなる」等、すぐに使えるテクニックも満載で、授業に取り入れていきたいと思いました。研修を終えて、授業を早くやりたくなりました。





・毎回思うのですが、どうして朝男先生の説明はわかりやすく、さらに「そうそう、そうなんです！」と腑に落ちるというか、ウチアタイすることがこんなに多いのだろうと、感動してしまいます。今日もたくさん学ばせて頂き、ありがとうございました。

・ 検証授業の指導助言だけではなく、その前の授業づくりから相談に乗ってくださるので、とても心強く充実した授業づくりができました。来校だけではなく、オンラインでの話し合いもできるので、とてもありがたいです。

・ 授業研当日だけでなく、授業作りから関わっていただいたおかげで、教材分析の方法や授業作りの視点まで学ぶことができて良かった。

・ 上江洲先生に年間を通して関わっていただいたので、一貫した理論を学べたので理解が深まった。

・ 単元に基づいた授業計画や指導案の書き方の基本、指導と評価の一体化などこれからの授業改善に活かしていきたいことばかりで、大変勉強になりました。授業に沿った研修、とてもよかったです。

3 アドバイザリー事業を通して 見えてきた学校のニーズ

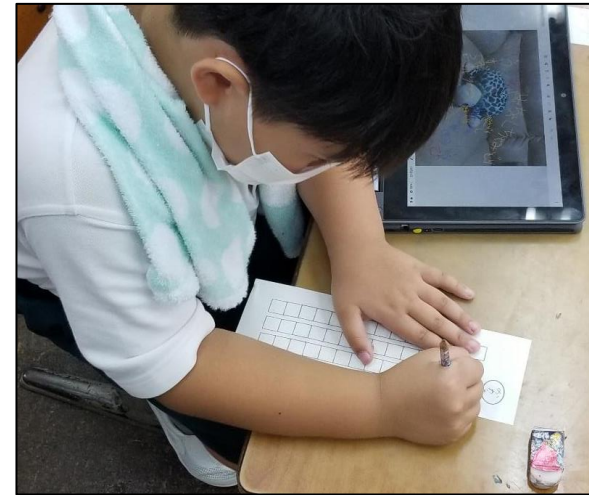
- 1 授業研までの「授業づくり」の相談や助言
- 2 単発ではなく、年間を通した「授業づくり」等の関わり
- 3 校内研の計画や授業研究会の持ち方などの助言
- 4 子どものみとりや評価（指導と評価の一体化）
- 5 授業に沿った研修

中学校での教科会での助言



4 アドバイザリー事業を通して 今気になっていること

- ・ オンラインの授業研究会
- ・ 授業におけるタブレット等の効果的な活用
- ・ タブレットを活用した授業研究会



- ・ 授業改善、授業研究会の在り方
- ・ 特別支援教育や外国籍の児童への支援



ご清聴ありがとうございました。

2022年度 琉球大学教育学部 地域連携部会
成果報告交流会

2023年3月5日(土)



教職センター 上江洲朝男